

令和6年度 第1回 市民活動支援センター運営委員会

	令和6年4月17日(水) 19時00分～20時50分							
会場	市民プラザあくろす2階 はばたき							
運営委員	会場	村上 むつ子	会場	平澤 和哉	会場	横山 真理	会場	水田 征吾
	欠席	加藤 和歌子	会場	毛利 勝	会場	小松 明日香	会場	原島 秀一
	会場	石井 洋子	会場	阿部 秀樹	会場	浜本 正樹	会場	石正 房江
	会場	安藤 雄太	会場	佐竹 澄子	会場	吉田 真也	会場	松谷 知彦
	会場	田村 敦史	会場	ニンファ・ジャヤマーンナ				
事務局	橋本、田村、北島、成田							

1 はじめに

- ・ 1分以内近況報告（各委員）

各委員より近況報告を行った。

【承認事項】 19:20～19:25 (5M)

2 令和5年度事業報告（案）と資金収支決算報告（案）の承認手順について

- ・ 5/8（水）～5/10（金）消費税額確定（予定）
- ・ 5/15（水）～5/21（火）事業報告（案）、資金収支決算報告（案）の運営委員への送付、意見の受付
- ・ 5/23（木）決算監査
- ・ 5/25（土）第二回運営委員会
- ・ 6/5（水）理事会
- ・ 6/20（木）評議員会

【委員長】 事務局より説明をいただきたい。

【事務局】 毎年のことになるが、これから令和5年度の事業報告と決算の手続きを法人内で進めていく。本日はスケジュールを皆さんに共有したい。ゴールデンウィーク明けの消費税額の確定後にはっきりとした数字が固まることになる。また、事業報告書についても現在作成中となる。概ね例年と同様のスケジュールになるが、5月の運営委員会前にメールで作成案を5月15日～5月21日の間に配信をして、5月の第2回運営委員会でご承認を願いたい。その後、ご承認いただいた内容で、理事会、評議員会での議案として進めていくこととなる。

●令和5年度事業報告（案）と資金収支決算報告（案）の承認手順の確認、スケジュールについて承認された。

【協議事項】 19:25～20:35 (70M)

3 今期の各グループの取組みについて

資料①

・えんがわフェスタを見据えて（1月19日（日）開催予定）

【委員長】今期の各グループの取組みについて長く時間を取っている。えんがわフェスタを見据えて協議を進めていきたい。前回行ったシャッフル協議を通じて新たな意見やアイデア等のフィードバック含めて協議を進めていただきたい。7月の終わりには各グループの内容を決定したい。各グループで最終的なかたちになった内容から、えんがわフェスタでの取組みにしてもよいと考える。

現在予定となっているえんがわフェスタの開催日程だけ先に決定をしたいと考える。来年1月19日（日）にえんがわフェスタを開催日としてよろしいか。

●今年度えんがわフェスタは、令和7年（2025年）1月19日（日）を開催日とした。

【委員長】ここから、各グループでの協議時間としたい。前回からのフィードバック等を受けての話し合いいただき、一度短い時間の各グループからの発表と質問タイムを設けたい。そのあと短いグループワーク時間に戻って、最後20:35を目途に各グループの進捗状況の共有時間としたい。

【50代チーム】

- ・えんがわフェスタの日程での開催を視野に入れての検討をしている。
- ・50代だけでなく、全体としてセカンドライフがより充実することに視点を持った企画。
- ・人生を考える分岐点、半生を50歳くらいと捉えると、いろんな方がいろんな考えをもって参加してくれるのではないか。
- ・いろんなロールモデルを実践されている方をお呼びしてお話を聞く。
- ・スリランカでは大学等でマインド的な内容を教えているもある。
- ・エストニアの事例の話も出た。
- ・イベントとして落とし込みたい。

- ・調布の方々のコミュニケーションをはかる。地元企業のアフラックさん、キューピーさん等とのコミュニケーションもって、イベントテーマのヒントが見つけれられるとよい。

【高齢者チーム】

※これまでの背景として配布資料①を参照いただきながらの説明としたい。当初は、一人暮らしの高齢者をどのように社会や環境に引っ張っていったらよいかという所から話し合いを開始している。資料にもあるよう、お節介を通じて、背中を押し続けることも大事ではないかという意見が出ていた。キーワードとしてお節介という言葉が出ていた。お節介にもコツや距離感、環境づくりも必要で対応が難しいところがある。そこで、お節介スキルを磨こうという趣旨でプロジェクトを広く共有する場を設けられるとよいのではというのが前回までの協議だった。

- ・共有の場として、言葉だけでは伝わりにくいのではないかと意見に基づいて、寸劇を通じて、相手やこちらがどう感じたのかを演じると、伝わりやすいのではないかと議論になっている。
- ・寸劇は演劇部などに所属する子どもたちの力を借り、担当してもらう。
- ・スペースとして、仙川劇場のような本格的な場所がよいのか。演者も気合いが入るのはいいか。
- ・寸劇を通じて、問題提起などをして、会場に来てくれた方にも考えてもらえる工夫をする。
- ・これまでに出ていた、孤独・孤立のキーワードをしっかりと守りながら、お節介に関する取材を進めていきたい。

【こどもチーム】

- ・これまでは。子ども放課後の居場所としての話し合いを重ねていた。子どもにインタビューとか、その親、おとなをどう扱うのか、食育も大切だといったテーマが出ていた。
- ・前回のシャッフル協議で、食をテーマしてイベントはどうかとの話で盛り上がりがあった。
- ・今回は食をテーマとしたイベントへ方向転換をしての協議となった。立てつけとして子どもたちが希望した料理を子どもたちが作るイベント。初めての料理の機会になる子どもには良い記念にもなるのではないか。
- ・同時に、親であるおとなを集めての食に関する講義なりグループワークを開催する。
- ・食育をテーマとするのか。ひと頃に比べると、今はあまり食育という言葉が聞かなくなったような気が主観的にしている。
- ・えんがわフェスタを開催する時期は1月に決定したが、もちつきがやりたい。食がテーマであれば、もちつきは可能だし、50代がテーマであっても無心にもちつきをしてもらえるのではないか。

・イベントのコラボ先として、子ども食堂の活動もされている。キューピーさんとのコミュニケーションを取ってみてもよいのか。

【委員】食育のことだが、主観的には関心は下がっている傾向を感じる。今年度から給食費が無償化されることなども関係しているのか。調布の給食は実はすごい。化学調味料を使用しないで、ちゃんと出汁を取り、採れたて食材を使用したりしている。給食室も洗い場と調理室を分ける工事が進んでいる。そういったこととも連携出来るとよいのか。

【委員長】ありがとうございました。

※さらに、各グループワーク時間を10分とり、内容のブラッシュアップ等の時間として、再協議を行った。

【委員長】各グループワークから、えんがわフェスタ以外にも、イベント等として取り組む企画が出て来るかもしれない。去年の経験を活かして、事務局ではなく、実行委員それぞれが主体的に動ける取り組みになるよう協議していきたい。

●次回運営委委員会でも継続して協議を行っていくこととした。

【報告事項】 20:35～20:40 (5M)

4 居場所探訪PJについて

資料②

【事務局】配布資料②を参照。資料は前回委員会と同様となっている。取材先への訪問は適宜進んでいるところではあるが、7月6日(土)シンポジウム開催に向けて、委員会の皆さんにもお声掛けしながら、具体的な内容を確定させていきたい。今日はそのアナウンスとなる。

5 災害ボランティア養成講座の実施結果について

・3月23日(土)「あらためて災害時要配慮者支援を考える」

【事務局】3月23日にシンポジウムの開催を行った。参加者は40数名。要配慮者ということで、障がい者支援を念頭に置いての開催だったので、テーマ的には真正面のテーマではなかったが、興味を持って集まっていたのか。委員から登壇をいただいたのでひとことお願いしたい。

【委員】緊張した。改めて参考になる話が多かった。

【事務局】要配慮者支援と題して、40数名の方が集まったことをポジティブに捉えてよいと考える。ファシリテーターを含めて、要配慮者の企画を定期的を開催していきたい。本年度も要配慮者の企画を進めていけるとよいという思いにいたったことを報告したい。

【その他】 20:40～20:45 (5M)

6 情報共有

【事務局】委員の1人から、ご家庭の事情から、なかなか委員会に参加できないとのご相談があり、昨年度末に退任の意思がありました。委員長とも相談してことだが、ご事情をおしての慰留は難しい状況として、4月末となるかと考えるが、退任の手続きを進めていけたらと考えているので、共有し、報告させていただく。

7 今後の市民活動支援センター運営委員会の開催日時と議案について

資料③

- | | |
|--------------------------|-------------|
| ・ 5月25日(土) 14時～16時 | 第2回運営委員会 |
| ・ 6月19日(水) 18時30分～20時30分 | 第3回運営委員会各委員 |

【委員長】それでは、本日の委員会を終了する。